

- 問1 藤原氏が摂政や関白として朝廷の官職を独占した理由を述べた次の文章のうち、当時の政治の仕組みとして正しい記述を選びなさい。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 地方を統治していた国司の任命権を天皇から完全に奪い、軍事力を背景に地方政治を直接支配したため | 2. 私地私民の原則を否定し、すべての土地を藤原氏の私有地として認める制度を確立したため | 3. 太政官などの伝統的な役職をすべて廃止し、藤原氏の家臣のみで構成される新しい議決機関を作ったため | 4. 天皇の外祖父（母方の祖父）という立場を利用して、天皇に代わって、あるいは天皇を補佐して政治を執り行ったため |
|---|--|--|--|
- 問2 院政が行われていた時期、皇位継承や摂関家の内紛に武士が動員されるようになり、武士の政治的地位が高まるきっかけとなった1156年の出来事として正しいものを選んでください。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|------------|---------|---------|
| 1. 保元の乱 | 2. 治承・寿永の乱 | 3. 平治の乱 | 4. 承久の乱 |
|---------|------------|---------|---------|
- 問3 平安時代の文化の特色について述べた学習メモにおいて、「中国から取り入れた漢字を簡略化するなどして作られた文字が普及し、日本独自の感情や情景を表現する文学が発展した」という内容があります。この文字の名称と、その文字を用いて書かれた文学作品の組み合わせとして最も適切なものを選びなさい。 (2017年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|---------------|---------------|-----------------|
| 1. かな文字 — 源氏物語 | 2. 万葉仮名 — 万葉集 | 3. 梵字 — 密教の経典 | 4. 絵文字 — 鳥獣人物戯画 |
|----------------|---------------|---------------|-----------------|
- 問4 平安時代の終わりに、源氏との激しい争いを繰り広げた氏族について述べたものです。壇ノ浦の戦いで滅亡し、その過程で行われた南都焼き討ちが、後に鎌倉時代における東大寺再建の直接的な要因ともなった、この氏族は何ですか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|-------|--------|
| 1. 蘇我氏 | 2. 北条氏 | 3. 平氏 | 4. 藤原氏 |
|--------|--------|-------|--------|
- 問5 平安時代末期に平清盛が太政大臣となり、平氏一門で高官を独占して権力を掌握した際、かつての摂関政治の仕組みを模倣して行った政治手法として最も適切なものはどれですか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 自分の娘を天皇の后とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の親戚（外戚）として政治に介入する手法。 | 2. 各地の武士と直接の主従関係を結び、彼らに土地の支配権を保障する代わりに、軍事的な奉仕を誓わせる手法。 | 3. 天皇から「征夷大將軍」の役職に任命されることで、朝廷とは独立した独自の行政機関を組織して政治を行う手法。 | 4. 朝廷から全国の公領を管理する権利を奪い、各地に代官を派遣して年貢を直接徴収することで、経済的な基盤を固める手法。 |
|---|---|---|---|
- 問6 794年に現在の京都府京都市に遷都が行われた際の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
| 1. 桓武天皇が、律令政治を立て直すために平安京へ遷都した。 | 2. 源頼朝が、武家政治を始めるために鎌倉に拠点を置いた。 | 3. 桓武天皇が、平城京の次にわずかな期間だけ長岡京を都とした。 | 4. 聖武天皇が、仏教の力で国を守るために平城京へ遷都した。 |
|--------------------------------|-------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
- 問7 平安時代中期の「国風文化」において、日本の気候や風土に合わせて発展した建築様式の説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2025年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 外敵の侵入を防ぐために石垣や堀をめぐらせ、壁を厚くした堅牢なつくり | 2. 急な傾斜の屋根を持ち、屋根裏で養蚕を行うことができる山間部のつくり | 3. 畳を敷き詰め、障子やふすまで部屋を細かく仕切った実用的なつくり | 4. 中心の建物から廊下を伸ばし、庭園の池を見渡せる開放的なつくり |
|--------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
- 問8 平安時代中期に藤原氏が「摂関政治」を完成させ、長期にわたって権力を維持できた理由として、最も適切な背景はどれですか。 (2025年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 天皇の母方の祖父という立場を確保し、天皇との血縁関係を極めて強く保持し続けたから。 | 2. 班田収授の法を厳格に運用し、全ての農民に土地を均等に分配することで税収を安定させたから。 | 3. 律令に基づき、地方の国司を武士の中から選ぶことで、軍事的な統制力を高めたから。 | 4. 「武士の気風」を尊ぶことで、新興の武士階級と協力して地方の反乱を鎮圧したから。 |
|--|---|--|--|
- 問9 10世紀の平安時代中期、関東地方で平将門が乱を起こしたのとほぼ同時期に、瀬戸内海の高僧を率いて朝廷の政治に対する反乱を起こした人物は誰ですか。 (2019年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|--------|--------|
| 1. 北条泰時 | 2. 藤原純友 | 3. 平将門 | 4. 源義朝 |
|---------|---------|--------|--------|
- 問10 藤原氏の権力が全盛を極めた時期の様子について述べた文として、最も適切なものはどれですか。娘を次々と天皇の后にし、権力を独占した人物の動向や当時の状況を踏まえて選びなさい。 (2024年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|-------------------------------------|
| 1. 藤原道長が、自分の栄華を「満月の欠けることのない様子」に例えて歌に詠んだ。 | 2. 藤原不比等が、大宝律令を制定して天皇中心の律令国家の仕組みを完成させた。 | 3. 藤原道長が、天皇の位を譲ったあとに上皇として院庁を開き、政治の実権を握った。 | 4. 藤原頼通が、武士の力を背景に太政大臣となり、日宋貿易を推進した。 |
|--|---|---|-------------------------------------|
- 問11 平安時代において、紫式部らによって『源氏物語』などの文学作品が広く執筆されるようになった背景や、その作品の性質について述べた文として最も適切なものを選びなさい。 (2021年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 武士の台頭に伴い、貴族社会が没落していく様子を記録するために、平仮名とカタカナを混ぜた重記物語が数多く作られた。 | 2. 浄土信仰が庶民の間に広まったことで、仏教の教えを分かりやすく伝えるための説話文学が、宮廷の女性たちの手によって生み出された。 | 3. 遣唐使が廃止されたことで大陸文化の影響が一切なくなり、漢字のみを用いた日本独自の歴史書が女性たちの間で流行した。 | 4. 藤原氏の摂関政治が行われる中、有力な貴族が優れた才能を持つ女性を宮廷に集め、仮名文字を用いた繊細な表現による物語文学が発展した。 |
|---|---|---|---|
- 問12 平安時代初期に、桓武天皇が坂上田村麻呂を征夷大將軍に任命して東北地方へ派遣した目的と、その結果についての説明として最も適切なものはどれか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 朝廷の支配を東北地方まで広げるためであり、坂上田村麻呂は胆沢城を築くなどして蝦夷の抵抗を抑え、支配を強化した。 | 2. 大陸の唐や新羅との交易ルートを確保するためであり、坂上田村麻呂は東北の海岸線に港を整備し、海外文化の導入を促進した。 | 3. 仏教の力によって国家の混乱を鎮めるためであり、坂上田村麻呂は東北地方に多くの国分寺を建立して民衆の教化に努めた。 | 4. 関東地方で自立した勢力を築こうとした平将門を討伐するためであり、坂上田村麻呂は武士の先駆けとして大規模な反乱を鎮圧した。 |
|--|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 天皇の外祖父（母方の祖父）という立場を利用して、天皇に代わって、あるいは天皇を補佐して政治を執り行ったため	摂関政治の根幹は、天皇との緊密な血縁関係にあります。藤原氏は娘を天皇の后にすることで、次代の天皇の「外戚（母方の親戚）」となることを目指しました。これにより、幼い天皇を助ける摂政や、成人した天皇を補佐する関白という地位を世襲し、他の貴族を圧倒する権力を維持しました。武力や制度の抜本的な改革ではなく、既存の朝廷の仕組みの中で血縁を利用して実権を握った点が重要です。
問2	答え 1 保元の乱	崇徳上皇と後白河天皇の対立に、摂関家や源氏・平氏の武士が加わって戦ったのが保元の乱です。この戦乱を通じて、朝廷内の争いも武士の力なしには解決できないことが明らかになり、武士が政治の表舞台に登場する大きな転換点となりました。その後の1159年に起こった平治の乱を経て、平清盛が主導権を握ることになります。
問3	答え 1 かな文字 — 源氏物語	漢字の一部を取ったり、全体を崩したりして作られた「かな文字」の発明は、国風文化における大きな特徴の一つです。これによって、紫式部が著した『源氏物語』や清少納言の『枕草子』など、貴族女性による優れた文学作品が生み出され、日本独自の文化が深まる要因となりました。
問4	答え 3 平氏	平安時代末期に平清盛を中心として権勢を誇りましたが、源頼朝や義経ら源氏との戦いに敗れました。また、平重衡による南都焼き討ちによって東大寺の大仏殿などが焼失し、これが鎌倉時代に重源らによって再建されるきっかけとなりました。
問5	答え 1 自分の娘を天皇の后とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の親戚（外戚）として政治に介入する手法。	平清盛は、かつて藤原氏が摂関政治で用いた手法を武士として取り入れました。具体的には、娘の徳子を高倉天皇の后に入れ、その間に生まれた安徳天皇を即位させることで、天皇の外祖父（母方の祖父）という立場から強い政治力を発揮しました。これは武力による支配だけでなく、血縁関係を通じて朝廷内部から権力を握ろうとしたものです。
問6	答え 1 桓武天皇が、律令政治を立て直すために平安京へ遷都した。	794年に平安京を築いたのは桓武天皇であり、その目的は乱れた律令政治の立て直しにありました。平城京は710年に現在の奈良市に置かれた都であり、長岡京は平安京の直前の都ですが、794年という年号と合致するのは平安京です。鎌倉は12世紀末に幕府が置かれた場所であり、遷都の背景とは異なります。
問7	答え 4 中心の建物から廊下を伸ばし、庭園の池を見渡せる開放的なつくり	遣唐使の廃止によって日本の独自の文化である「国風文化」が発達しました。寝殿造は、壁が少なく御簾（みす）や屏風で空間を仕切る開放的な構造が特徴です。これは、日本の夏の蒸し暑さをしのぐための工夫でもありました。他の選択肢にある「畳を敷き詰め、障子やふすまで仕切る」形式は、のちの書院造の特徴です。
問8	答え 1 天皇の母方の祖父という立場を確保し、天皇との血縁関係を極めて強く保持し続けたから。	摂関政治の最大の特徴は、藤原氏が天皇の「外祖父（母方の祖父）」になることにあります。当時の慣習では子供は母親の実家で育てられることが多かったため、母方の祖父は天皇に対して強い影響力を持つことができました。藤原道長はこの仕組みを最大限に利用し、娘たちを次々と天皇に嫁がせることで、揺るぎない権力基盤を構築しました。
問9	答え 2 藤原純友	10世紀前半、地方政治の乱れに乗じて各地で武士の反乱が相次ぎました。関東での平将門の乱に対し、瀬戸内海で反乱を起こしたのが藤原純友です。これら二つの動乱を合わせて「承平・天慶の乱」と呼びます。当初は朝廷の官吏（伊予掾）であった純友が、瀬戸内海の高松を組織して反乱へ至った過程は、地方における武士の台頭を象徴しています。
問10	答え 1 藤原道長が、自分の栄華を「満月の欠けることのない様子」に例えて歌に詠んだ。	藤原道長は、自身の4人の娘を次々と天皇の后に入れることで、盤石な外戚関係を築きました。彼は娘が中宮（后）となった祝宴の席で、「この世をば わが世とぞ思う 望月の欠けたることも無しと思えば」と詠み、自らの権力が満月のように完璧であると表現しました。なお、日宋貿易を進めたのは平清盛、院政を開始したのは白河上皇です。
問11	答え 4 藤原氏の摂関政治が行われる中、有力な貴族が優れた才能を持つ女性を宮廷に集め、仮名文字を用いた繊細な表現による物語文学が発展した。	平安時代、遣唐使の停止などにより日本独自の生活や感覚に合わせた国風文化が成立しました。特に、仮名文字が使われるようになったことで、漢字では表現しにくかった微妙な感情や情景を表現できるようになり、宮廷の女房たちを中心に『源氏物語』のような物語文学や、日記・随筆などが数多く執筆されました。これは、藤原氏が自らの権力を強めるために、娘たちの周囲に高い教養を持つ女性を配したという政治的な背景も関係しています。
問12	答え 1 朝廷の支配を東北地方まで広げるためであり、坂上田村麻呂は胆沢城を築くなどして蝦夷の抵抗を抑え、支配を強化した。	桓武天皇の時代に行われた東北遠征は、律令支配の拡大を目的としていました。坂上田村麻呂は軍事的な制圧だけでなく、現在の岩手県に胆沢城を築くなど、行政拠点を設けることで永続的な支配を確立しようとしていました。他の選択肢にある大仏建立や国分寺の設置は奈良時代の聖武天皇の政策、平将門の乱の鎮圧は平安時代中期の出来事であり、時代背景が異なります。